

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK220	科目名	子ども英語指導法	担当者名	福士洋子・成田恵子
授業の概要	この授業では、幼児・児童を対象に英語活動を行う際に必要な歌、絵本、ゲームなどを使った基本的な指導法を学ぶとともに附属幼稚園及び近隣小学校での英語活動実習を視野に入れた教材研究も行う。また、年間指導計画や指導案の立て方を学び、実際に指導案を作成し、模擬授業を実施する。さらに、青森県内の幼児・児童を対象にした英語活動の現状やJ-Shineの認定資格である「小学校英語指導者資格」の登録制度についても学ぶ。				
科目の到達目標	・英語の絵本や歌などを使った指導法を身につける。 ・「小学校英語指導者資格」に関する知識を深める。 ・幼児施設及び小学校での英語活動実習を視野に入れた教材研究を行う。 ・幼児・児童を対象にした英語活動の指導案の立て方を知る。 ・幼児・児童を対象にした英語活動の指導案を作成する。 ・作成した指導案に基づいて模擬授業を実施し、英語活動の実際を体験する。				
DPの観点	⑥専門知識・技能40％ ⑦思考力20％ ⑧実践力20％ ⑨主体性20％				
授業時間外学修（予習・復習）	・英語の絵本を和訳し、読み聞かせの練習を2時間程度行う。 ・英語の歌の練習を30分程度行う。 ・模擬授業のための教材を1時間程度で作成する。 ・必要に応じて指導案に修正を加え、模擬授業の練習を2時間程度行う。				
フィードバックの方法	英語の読み聞かせ・歌・模擬授業の実践についての講評を行う。指導案については、個別に修正点等を指摘する。				
単位認定の要件	・英語の歌を歌うことや絵本の和訳・読み聞かせができる。 ・指導案を作成し、それに基づき模擬授業を実施することができる。				
評価の方法・割合（％）	授業内発表（歌、絵本）40%、指導案 20%、模擬授業 20%、授業貢献度 20%				
履修上の注意事項	「小学校英語指導者資格」(J-Shine)を取得するための必修科目				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			授業概要（評価の観点含む）、青森県内の保育施設における英語活動実施状況、小学校英語指導者資格（J-Shine）の説明、自己紹介他	⑦⑨	ミニッツペーパー
2			絵本教材と指導法：年齢に応じた絵本の選び方・読み方・和訳の仕方を学ぶ。	⑥⑧	ミニッツペーパー
3			絵本の読み聞かせ：人前で絵本の読み聞かせを行う。実施後、全員で講評し合う。	⑥⑧⑨	プレゼンテーション
4			歌・チャンツ教材と指導法：年齢に応じた歌などの選び方、歌などのメリット等歌・チャンツのふり（動作）を考えて、練習する。	⑥⑧	ミニッツペーパー
5			歌又はチャンツ：人前で二人一組で動作をつけて歌う。実施後、全員で講評し合う。	⑥⑧⑨	プレゼンテーション
6			ゲームを取り入れた英語活動：年齢に応じたゲームの選び方、指導法を知る。様々なゲームを体験する。	⑥⑧	ミニッツペーパー
7			小学校英語活動：フォニックスを取り入れた英語活動等を知る。	⑥⑧	ミニッツペーパー
8			小学校英語活動：教材研究①：低学年を対象にした教材作成の方法を知る。	⑥⑧	ミニッツペーパー
9			小学校英語活動：教材研究②：中学年を対象にした教材作成の方法を知る。	⑥⑧	ミニッツペーパー
10			小学校英語活動：教材研究③：高学年を対象にした教材作成及び評価方法を知る。	⑥⑧	ミニッツペーパー
11			小学校英語活動の実際：小学校での英語活動の実際を体験する。	⑥⑧	ミニッツペーパー
12			指導案の立て方・作成：模擬授業のための指導案の立て方を学び、作成する。	⑥⑧	ミニッツペーパー
13			模擬授業の練習：指導案に沿って練習を行い、修正を加える。教材の製作をする。	⑥⑧	ミニッツペーパー
14			模擬授業①：指導案に沿って模擬授業を行う。実施後、全員で講評し合う。	⑥⑧⑨	プレゼンテーション
15			模擬授業②：指導案に沿って模擬授業を行う。実施後、全員で講評し合う。	⑥⑧⑨	プレゼンテーション
期末試験					

使用テキスト	岡秀夫・金森強(2012)『小学校外国語活動の進め方』成美堂
参考文献 参考URL	中山兼芳(編)(2005)『児童英語教育を学ぶ人のために』世界思想社 文部科学省『小学校外国語活動サイト』 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gaikokugo/
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--